

14.

I-0070

0097

丙

接 受 案	昭 和 年 月 日	第 一 二 五 三 號	決 裁	昭 和 十 五 年 十 二 月 十 七 日	淨 書 長 渡	校 合 渡	發 送 渡
起 案	昭 和 十 五 年 十 二 月 十 六 日		施 行	昭 和 十 五 年 十 一 月 十 六 日	完 結	昭 和 年 月 日	

行取課長不在

事務官



主任



案 (航空便) 部長

部長

新加坡、文政局長

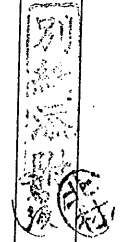
事務官

I-0070

0098

一書業典の裁の書業典の典裁者一上級
典裁進典の周の件

今般文部省に於て、標記新限方、周の別紙官、
通官業典の典裁者、帝國大學の校長、官の秘書長、
長の地方官及、通判の長、二條の長、二條の長、



(起案用紙三號ノ二)

(日本標準規格 B-5)

I-0070

0099

電報譯文用紙甲
昭和十五年 十月 十日 午後 時 分受 主任
發信局

宛名 朝鮮 郵 長
發信人 朝鮮 郵務 局長

電報譯文

新開之依レハ五郡省ニ於テ農、工、商、實業、
中校卒業者ノ上級学校進学校進学ヲ抑制
スル趣旨ヲ以テ十月九日付、專向、実業兩字
務局長名ヲ以テ通牒ヲ発シタル趣旨ガ半島
ニ於テモ相当措置ヲ要シ研究シ彼ニ付同前
牒寫至急航空便ニテ御送付了リ度シ、

實業の部向由書案の留保

拓務省

(石川 納)

I-0070



報 電

中郵2806

12.13

至急官報

トウケウイウビ
イリ一七三
トウキヨウ
タクムシヨウ
チヨウセンブ

ウナ
ニシオヘ五モヤハノウ、タヨウ、シヨウ、一シアンソツギ ヨウシ
マノジ ヨウキユウガ クコウシンガ クコウシンガ クヲヨクセ
イスルシユシヨモツテ四シイク九、センモン、ジツギ ヨウリヨ
ウガ クムキヨクチヨウメイヲモツテツウチヨウヲハツシタルオモ

コニ、四四

省 信 遞

報 電

中郵2806

12.13

至急官報

トウケウイウビ
イリ一七三
トウキヨウ
タクムシヨウ
チヨウセンブ

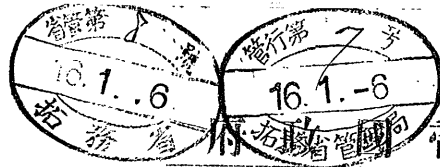
ウナ
ニシオヘ五モヤハノウ、タヨウ、シヨウ、一シアンソツギ ヨウシ
マノジ ヨウキユウガ クコウシンガ クコウシンガ クヲヨクセ
イスルシユシヨモツテ四シイク九、センモン、ジツギ ヨウリヨ
ウガ クムキヨクチヨウメイヲモツテツウチヨウヲハツシタルオモ

コニ、四四

省 信 遞

I-0070





大日本帝國

昭和十五年十二月二十八日

文部省實業學務局長 關

口

勅

拓務次官 北島 謙次 郎 殿

實業學校及實業專門學校卒業者ノ上級學校進學ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ本月十七日附テ以テ御協力方及御依頼タル處其ノ取扱
ニ付商業關係學校等ニ於テハ既ニ相當就職先決定ノ進捗シ居ル等ノ事
情ノモノモ有之來年三月卒業者ノ取扱ニ付テハ前通牒趣旨徹底ノ上猶
上級進學者一割ヲ超スル場合アルモ已ムテ得ザル儀ニ御含相成度

I-0070

0:02

丙

管行第一二五三號	決裁	昭和十五年十二月二十六日	書淨	校合	送發
接受	昭和三十五年十一月十九日	施行	昭和三十五年十二月二十六日	昭和三十五年	昭和三十五年
起案	昭和三十五年十一月十九日	完結	昭和三十五年	昭和三十五年	昭和三十五年

管理局長

行政課長

主任

事務官

案一 (航空便) 部、局長

朝鮮學務局長 (宛)
台湾文教局長

拓務省

實業學校及實業專門學校卒業者、上級學校
進學ニ關スル件

首題ノ件ニ關シテハ本月十七日管行第一二五三號
ヲ以テ各學校長迄ニ地方長官宛文部省通牒字
参考迄送附致置キタル筈今般文部次官ヨリ
現下ノ生産力擴充ニ即應スル爲之ガ通牒趣旨
達成ニ協力相成度旨依頼趣ニタルニ付テハ貴管下

(起案用紙三號ノ一)

I-0070

0:03

ニ於テモ適當^一御配意相成様致度

追テ文部省實業事務局局長ヨリ直轄實業界内某校長

宛ニ通牒中「第二項中」已ムヲ得ガレ事情ノ為」トハ目下、

處健康上一、二年間ハ社會ニ去ゾルモ就業ニ得ガレ

状況ニ在ル者ヲ豫定シ居リ又第六項中「將來特殊ノ

事情ニ依リ」トハ目下、是陸軍^海關係會社、公共團體

等ニ就職シタル後更ニ特殊若ハ高級ナル技能修得ノ為

大日本帝國政府

其ノ委託ニ依リ入塔スル場合^及其他卒業後一旦就業

シタルモ其ノ業務が本人ノ性格ニ適應セザルニ至リ又ハ本人

ノ希望変更ニ依ルモ隘リニ職業変更スルモノト認ムセザル

者等ヲ予定シ居レル趣ナリ尚勸導校同項中「文部省

ノ承認下ハ當該某校長ヨリノ伺ニ對スル同省所管局長

ノ承認ト爲ス方針ナル趣ニ付迄參考申添

案ノ二

陸上軍部定規第 一六二七號

局長

勅 大廳長官宛

實業專門學校及實業專門學校卒業者ノ上級學校
進學ニ関スル件

今般文部省ニ於テハ標記進學抑制ニ関シ別紙字ノ
道實業專門學校長、帝國大學總長、官公私立大學長及
地方長官へ通牒致シタルニ付迄參考送付ス

大日本帝國政府

昭和三十二年三月二十一日

I-0070

0:05

1962
15.12.13
拓務省

1250号
15.12.13
拓務省

大日本國政府

發實一〇四號

昭和十五年十二月十七日

文部次

拓務次官殿



實業學校及實業專門學校卒業者ノ上級學校進學ニ關スル件

現下ノ生産力擴充ニ即應スルタメ今般別紙寫ノ通關係方面ニ通牒致シタルニ付之ガ趣旨達成ニ御協力相成度此段及御依頼

I-0070

0:06

發實一〇四號

昭和十五年十二月九日

文部省 實業專門學校工務局長

直轄實業專門學校長 宛

實業學校及實業專門學校卒業生ノ上級學校進學ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ客年十一月十七日附發實九四號ヲ以テ制限方通牒致シタル事ニ現下内外ノ情勢ニ鑑ミ實業學校及實業專門學校ノ使命ハ一層重大トナリ其ノ卒業生ノ產業界ニ於ケル活動ニ期待スル今日ヨリ大ナルハナキ情態ナリ 然ルニ本年實業學校及實業專門學校卒業生ノ上級學校進學狀況ヲ觀ルニ前記通牒ノ趣旨ヲ拘テ其ノ例ヲ見ザル多數ノ入學者ヲ出シタルハ洵ニ遺憾ト云ハザルベカラズ 仍テ爾今何分ノ指示アル迄上級學校進學者ニ付テハ左記ニ依リ取扱ヒ嚴ニ取締ルコトト相成タルニ付御了知ノ上之ガ趣旨ヲ生徒ニ徹底セシメ戰線ニ應召スル

ノ意氣ヲ以テ產業界ノ第一線ニ出デシムル様格段ノ御奮勵相成度此段 依命及通牒

記

一、實業學校生徒又ハ卒業生ノ貴校入學志願ノ際ハ必ず當該出身學校長ノ推薦書ヲ添付セシムルコトトシ 右推薦書添付無キ入學願書ハ受理セザルコト

一、貴校生徒又ハ卒業生中已ムヲ得ザル事情ノ爲上級學校受験チナス者ニ對シテハ出願ノ際必ず貴官ノ推薦書ヲ添付セシムルコト（右推薦書添付無キ入學願書ハ帝國大學及官公私立大學ニ於テ受理セザルコトトス）

一、貴官ニ於テ帝國大學又ハ官公私立大學入學志願ノ爲推薦シ得ル數ハ其ノ年ノ各學科別卒業生ニ付夫々一割以下トスルコト
一、帝國大學及官公私立大學ニ於テ實業專門學校卒業生ノ入學ヲ許可シ得ル員數ハ其ノ入學許可員數ト募集生徒定員トノ割合ガ左ノ割合ヲ超過セザル範圍ニ止ララルベキコト

實業專門學校卒業者ニシテ昭和十二年度以降三年間ニ入學ヲ許可セラルタル者ノ一年間平均數ヲ 昭和十二年度以降三年間ノ募集生徒定員ノ平均數ニテ除シタル割合

一、帝國大學及官公私立大學入學志願ノ爲推薦書ヲ交付シ得ル者ハ爾今其ノ年ノ卒業者ノミトスルコト

但シ本年三月又ハ其以前ノ卒業者ニシテ明年帝國大學又ハ官公私立大學受験ノ爲準備中ノ者ニ付テハ過渡的處置トシテ便宜推薦書ヲ交付シ得ルコト

一、其ノ年以前ノ卒業者ニシテ將來特殊ノ事情ニ依リ帝國大學又ハ官公私立大學入學ヲ必要トスル場合ハ其ノ都度本省承認ヲ經ル後推薦書ヲ交付シ受験セシムルコト

一、以上實施ニ關シ規則等改正ノ要アル向ハ直ニ其ノ手續ヲトルコト
追テ參考ノ爲帝國大學總長及官公立大學長宛、公私立實業專門學校校長宛、私立大學長宛及地方長官宛通牒寫添付致置キタルニ付申添フ

備考

本通牒ニ添付セル書類次ノ如シ

- 1、帝國大學總長及官公立大學長宛通牒寫
- 2、公私立實業專門學校校長宛通牒寫
- 3、私立大學長宛通牒寫
- 4、地方長官宛通牒寫



發實一〇四號

昭和十五年十二月九日

文部省實業學務局長

公私立實業專門學校長宛

實業學校及實業專門學校卒業者ノ上級學校進學ニ關スル件

近時實業學校及實業專門學校卒業者中上級學校進學ヲ希望スル者激増ノ傾向アルモ我が邦内外ノ情勢ハ益々非常性ヲ加ヘ我が産業界ノ擴充亦愈々重要性ヲ増シツツアリ之ニ伴ヒ實業學校及實業專門學校ノ使命ハ一層重大トナリ其ノ卒業者ノ産業界ニ於ケル活動ニ期待スル今日ヨリ大ナルハナキ情態ナリ 仍テ今同官立實業專門學校長宛別紙寫ノ通り通牒相成タルニ付テハ貴校ニ於テモ之ニ準ジ御取扱ノ上本趣旨達成ニ努メラレ度 追テ参考ノ爲帝國大學總長及官公立大學長宛、私立大學長宛及地方

長官宛通牒寫添付致置キタルニ付申添フ

備考

本通牒ニ添付セル書類次ノ如シ

- 1、直轄實業專門學校校長宛通牒寫 (昭和十四年十一月十七日附發實九四號 昭和十五年十二月九日附發實一〇四號)
- 2、帝國大學總長及官公立大學長宛通牒寫
- 3、私立大學長宛通牒寫
- 4、地方長官宛通牒寫

發實一〇四號

昭和十五年十二月九日

專門學務局長

帝國大學總長及官公立大學長宛

實業學校及實業專門學校卒業者ノ上級學校進學ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ客年十一月十七日附發實九四號ヲ以テ考慮方通牒相成タル處我ガ邦内外ノ情勢ハ益々非常性ヲ加ヘ我ガ產業界ノ擴充亦愈重長性ヲ増シツツアリ之ニ伴ヒ實業學校及實業專門學校ノ使命ハ一層重大トナリ其ノ卒業者ノ產業界ニ於ケル活動ニ期待スル今日ヨリ大ナルハナキ情態ナリ然ルニ本年實業學校及實業專門學校卒業者ノ上級學校進學狀況ヲ觀ルニ前記通牒ノ趣旨ニ拘ラズ未ダ其ノ例ヲ見ザル多數ノ希望者ヲ出シタルハ洵ニ遺憾ナルニ付テハ明年以降實業專門學校ヨリノ入學者ニ付テハ左記ノ通り取扱フコトトシ右通牒ノ趣旨達成

ニ努ムル様御措置相成度

記

- 一、實業專門學校生徒又ハ卒業者ニシテ貴學入學志願ノ際ハ必ず當該出身學校長ノ推薦書ヲ添付セシムルコトトシ右推薦書添付無キ入學願書ハ受理セザルコト
- 二、貴學ニ於テ實業專門學校卒業者ノ入學ヲ許可シ得ル員數ハ其ノ入學許可員數ト募集生徒定員ニ對スル割合ガ左ノ割合ヲ超過セザル範圍ニ止ムルコト
- 三、昭和十二年度以降三年間ノ實業專門學校卒業者ニシテ入學ヲ許可セラレタル者ノ平均數ヲ昭和十二年度以降三年間ノ募集生徒定員ノ平均數ニテ除シタル割合

一、前二項實施ニ關聯シ所要ノ手續アラハ直ニ取計ハルルコト

尙附屬專門部等ニ付テモ別紙直轄實業專門學校校長宛通牒寫ノ趣旨ニ準

ジ御取扱相成度

追テ参考ノ爲公私立實業専門學校長宛、私立大學長宛及地方長官宛
通牒寫添付致置キタルニ付申添フ

備 考

本通牒ニ添付セル書類次ノ如シ

- 1、直轄實業専門學校長宛通牒寫
- 2、公私立實業専門學校長宛通牒寫
- 3、私立大學長宛通牒寫
- 4、地方長官宛通牒寫

發賣一〇四號

昭和十五年十二月九日

專門學務局長

私立大學長宛

實業學校及實業專門學校卒業者ノ上級學校進學ニ關スル件

近時實業學校及實業專門學校卒業者中上級學校進學ヲ希望スル者激増ノ傾向アルモ我が邦内外ノ情勢ハ益々非常候ニ加ヘ我が産業界ノ擴充亦愈々重要性ヲ増シツツアリ之ニ伴ヒ實業學校及實業專門學校ノ使命ハ一層重大トナリ其ノ卒業者ノ産業界ニ於ケル活動ニ期待スル今日ヨリ大ナルハナキ情態ナリ仍テ今回帝國大學總長及官公立大學長宛別紙寫ノ通り通牒相成タルニ付テハ實學ニ於テモ之ニ準ジ御取扱ノ上本趣旨達成ニ努メラレ度

追テ参考ノ爲帝國大學總長及官公立大學長宛、官立實業專門學校長

宛、公私立實業專門學校校長及地方長官宛通牒寫添付致置キタルニ付申添フ

備考

本通牒ニ添付セル書類次ノ如シ

- 1、帝國大學總長及官公立大學長宛通牒寫
- 2、官立實業專門學校校長宛通牒寫
昭和十四年十一月十七日附發賣九四號
昭和十五年十二月九日附發賣一〇四號
- 3、公私立實業專門學校校長宛通牒寫
- 4、地方長官宛通牒寫

發賣一〇四號

昭和十五年十二月九日

實業事務局 長

地方長官宛

實業學校卒業生ノ上級學校進學ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ本年十一月十七日附發賣九四號ヲ以テ配意方通牒相成
タル處我が邦内外ノ情勢ハ益々非常性ヲ加ヘ我が産業界ノ擴充亦愈々
重要性ヲ増シツツアリ 之ニ伴ヒ實業學校ノ使命ハ一層重大トナリ其
ノ卒業生ノ産業界ニ於ケル活動ニ期待スル今日ヨリ大ナルハナキ情態
ナリ 然ルニ本年實業學校卒業生ノ上級學校進學狀況ヲ觀ルニ前記通
牒ノ趣旨ニ拘ラズ末々其ノ例ヲ見ザル多數ノ希望者ヲ出シタルハ洵ニ
遺憾ナルニ付テハ今後實業學校生徒又ハ卒業生ニシテ已々才幹ナル事
情ニ依リ實業專門學校入學志願ヲナス者ニ對シテハ必ず出身學校長ノ

推薦書ヲ添付セシムルコトトシ右推薦書添付ナキ入學願者ハ實業專門
學校ニ於テ受取セザルコトトス 又其ノ推薦書ハ各校共概テ其ノ年ノ
卒業生數ノ一割以内ニ止シシムル機御措置相成本局旨趣相ニ努メラレ
度

寫

發實九四號

昭和十四年十一月十七日

文部省實業學務局長

直轄實業專門學校長 宛

實業學校及實業專門學校卒業者ノ上級學校進學ニ關スル件

近時實業學校及實業專門學校卒業者中上級學校進學ヲ希望スル者漸増ノ傾向ニアルモ實業學校ノ使命ハ卒業後直ニ實業ニ從事スル者ノ養成ニ在リ且又學費下我々國生産力ノ擴充ハ焦眉ノ急務ナルニ鑑ミ是等學校ノ卒業者ヲナルベク多數産業界ニ送出スルハ誠ニ緊要ト認メラルルヲ以テ各位ニ於カレテハ級上ノ趣旨ニ依リ富分ノ同卒業者ノ上級學校

進學ニ就テハ之ヲ最少限度ニ止ムルト共ニ實業學校ヨリノ入學志願者ニ對スル入學者數ニ付テハ概テ最近三ケ年間ノ平均ニ（各學校ニ付）ヲ超ヘザル範圍ニ止ムル様致候此段及通牒候

追而各帝國大學總長、自公立大學長並地方長官宛別紙寫ノ通り通牒致シタルニ付爲参考送付ス

寫

發賣九山書

昭和十四年十一月十七日

文部省實業事務局局長
文部省專門學務局長

地方長官 官 署

實業學校卒業生ノ上級學校進學ニ關スル件

近時實業學校卒業生中上級學校進學者漸増ノ傾向ニアルモ
實業學校ノ設備ハ卒業後直ニ實業ニ従事スル者ノ養成ニ在リ且又専業
下級方職能能力ノ補充ハ漸増ノ急務ナルニ鑑ミ實業學校卒業生中ナル
ベク多數者海外ニ輸出スルハ最モ緊要ト觀テラレルヲ以テ貴省下級
學校長ヲシテ職上ノ監督ニ依リ前分ノ間卒業生ノ上級學校進學者ニ就
テハ之ヲ最少限度ニ止メシムル機御嚴重相續ハシ度此段及通牒候
追而帝國大學校長及官公立大學校長並本省直轄實業專門學校校長宛別紙
寫ノ通シ通牒致シタルニ付萬事考慮付ス

寫

實業學校及官立專門學校卒業生ノ上級學校進學ニ關スル件

文部省實業事務局局長

近時實業學校卒業生中上級學校進學者漸増ノ傾向ニアルモ
實業學校ノ設備ハ卒業後直ニ實業ニ従事スル者ノ養成
ニ在リ且又専業下級方職能能力ノ補充ハ漸増ノ急務ナルニ鑑ミ
實業學校卒業生中ナルベク多數者海外ニ輸出スルハ最モ緊要ト觀
テラレルヲ以テ各位ニ於テ職上ノ監督ニ依リ前分ノ間卒業生ノ上級學校
進學ニ統テハ之ヲ最少限度ニ止メシムル機御嚴重相續ハシ度此段及
通牒致シタルニ付萬事考慮付ス

追而各帝國大學校長、官公立大學校長並地方長官宛別紙寫ノ通牒
致シタルニ付萬事考慮付ス

大學名	昭和十五年	入學者中 實業專門學校 卒業者數	昭和十五年 卒業者數
	入學者數	昭和十三年 度以降三年間 平均數	
東京帝大	二二二三	〇	〇
京都帝大	一三六四	一四一	六七〇
東北帝大	四二四	一九一	三八
九州帝大	五三八	一五八	七三
北海道帝大	二五九	二五	三九
大阪帝大	三八三	四〇	八六
名古屋帝大	一五〇	一	四二
計	三五一	一八三	四二
東京商大	三六〇	九二	九四
神戸商大	二二〇	三二	一六
新潟医大	四四	〇	〇
岡山医大	三九	〇	〇
千葉医大	七五	〇	〇
金澤医大	五六	〇	〇
長崎医大	三六	一	〇
熊本医大	六三	〇	〇
東京工大	二五六	八〇	一五八
東京文理大	一〇六	二	〇
廣島文理大	一二六	二	〇
京都府立医大	七九	〇	〇
大阪商大	一五五	三九	四七
神宮皇學館大	一	一	一
計	一六一五	三五六	四六五

I-0070

0:16

丙

管行第一二五三號

接
受
昭
和
十
六
年
一
月
七
日

施
行

昭
和
十
六
年
一
月
十
日

完
結

昭
和
十
六
年
一
月
十
日

決
裁

昭
和
十
六
年
一
月
十
日

淨
書

合
校
送
發

管理局長

行政課長

事務官主任

案(航空便)

部局長

朝鮮學務局長

台湾文教局長

樺太廳長官

行
務
官

I-0070

0:08

大日本帝國政府

テハ學校長ニ於テ之カ就職斡旋ニ努メ次テ前通
牒類旨ヲ徹底シタル上猶上級學校進學希望者
一割ヲ超エル場合ハ本年ニ限り過渡的措置トシテ
之ガ推薦方ヲ認ムル文部當局ノ方針ナルニ付
右御含メノ上可然御取計相成度

(國定規格B5(16×22)用紙)

實業學校及實業專門學校卒業者ノ上級學校
進學ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ昨年十二月二十八日附管行第一二五三號
ヲ以テ貴管下ニ於テモ適宜御配意相成様申進
致置キタル處本年三月商業關係學校卒業見込
者等ニ於テハ諸般ノ事情ニ基キ未ダ就職決定
セザル者相當生ジタル模様ナルモ斯ル場合ニ在リ

(起案用紙三號ノ二)

(日本標準規格 B.5)

自 昭和十六年一月
至 昭和十六年五月

I-0070

0:20

(8) 台北高等学校卒業者, 大学入学状 況調査=圖20件.	自昭和 年 月
(9) 國民学校, 学令簿及学籍簿, 取扱方= 圖20件.	自昭和 年 月
(10) 師範学校尋常科卒業者, 專門学校入 学資格=圖20件.	自昭和 年 月
(11) 在学年限及修業年限, 臨時措置=圖20件	自昭和 年 月
(12) 教育審議会初十四回総会=於 ₁₁ 答申 並=建議=圖20件.	自昭和 年 月
(13) 高等学校高等学科課程=圖20臨時 措置=圖20件	自昭和 年 月
(14) 帝國大学及官立大学入学試験=圖20件	自昭和 年 月
(15) 在学年限又、修業年限, 臨時短縮= 併、授業料等, 取扱=圖20件	自昭和 年 月

外務省

目次

(1) 一般及雜	自昭和 年 月
(2) 權太=於 ₁₁ 國民学校制度=圖20件. (なし)	自昭和 年 月
(3) 実業学校及実業專門学校卒業生, 上級 学校進学=圖20件.	自昭和 年 月
(4) 実業学校状況調, 件	自昭和 年 月
(5) 權太國民学校令施行規則=圖20件.	自昭和 年 月
(6) 國民学校令及同施行規則=圖20件.	自昭和 年 月
(7) 教育審議会=於 ₁₁ 答申=圖20件.	自昭和 年 月

外務省

I-0070



(24) 大学学部等, 在学年限又、修業年限, 臨時短縮=案₂₀件

自昭和 年 月

自昭和 年 月

自昭和 年 月

自昭和 年 月

自昭和 年 月

自昭和 年 月

自昭和 年 月

外務省

(16) 中等学校最高学年在学者=案₂₀臨時措置=案₂₀件

(17) 官立高等学校高等科入学者選抜試験科目並施行日時等=案₂₀件
自昭和 年 月

(18) 中等学校入学者選抜=案₂₀件
自昭和 年 月

(19) 中等^{実業}学校=於₁₀修業年限, 臨時短縮=俵授業料徴収等=案₂₀件
自昭和 年 月

(20) 大学学部等, 在学年限又、修業年限, 昭和16年度臨時短縮=案₂₀件
自昭和 年 月

(21) 在学徴集近期之間, 臨時特例中等, 改正=案₂₀件
自昭和 年 月

(22) 学校, 修業年限ヲ規定₂₀制令=案₂₀件
自昭和 年 月

(23) 昭和17年度在学年限又、修業年限, 臨時短縮=案₂₀件
自昭和 年 月

外務省

I-0070

0:22